

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 地球っ子プロジェクト

1 事業の趣旨・目的

外国人児童生徒（日本語を母語としない児童生徒）が、より早く日本の生活に慣れ、学校での学習活動や地域の行事に参加できるよう支援を行う。具体的には「子ども日本語教室」を常設、夏・冬休み子ども日本語教室を実施する（4日と1日）。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
21年6月 13日(土) 14:00～ 15:00	東京学芸大 齋藤ひろみ准教授 船橋市教育委員会 学校教育部指導課 掛村利弘指導主事 地球っ子：代表 宮、副代表 浦和 会計 安部	1. 地球っ子プロジェクトの21年度の現況報告 2. 「子ども日本語教室」の21年度の教室活動計画 3. 意見交換	左記議題を報告の後、それらを踏まえて意見交換を行った。 ・学校の適応指導と地球っ子の支援との連携 ・学校の教師、日本語指導協力員、地球っ子のボランティアの認識の共有 ・地球っ子の目標は、日本語支援が第一にあり、それを行う中で教科指導、生活適応心のケア、居場所の提供などを行うことにつながっている。 など有意義な意見交換を行った。
22年3月 10日(水) 13:00～ 15:15	東京学芸大 齋藤ひろみ准教授 船橋市教育委員会 学校教育部指導課 掛村利弘指導主事 地球っ子：代表 宮、副代表 浦和 会計 安部、幹事 坂井	1. 子ども日本語教室の平成21年度の活動実績 2. 船橋市の小中学校に於ける帰国外国人児童生徒の適応指導の現況 3. 学校教育における年少者の日本語教育と地域ボランティアの支援との関係に関するアドバイス・意見	・子ども日本語教室は、費用面、学校外で日本語の勉強ができる場所、居心地の良い教室、保護者の観点等から存在意義がある。 ・不就学児童生徒への働きかけも課題である。 ・児童生徒への支援は、学校の要請により行われるが、支援の開始、終了の判断基準が明確になっていない。発達段階や、子どもによって支援の内容が多様でガイドラインが作りにくい。

		交換	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に対する評価について、JSLバンドスケールの船橋版を作って、学校と地球っ子の異なる主観的判断を照らし合わせる場があってもよいのではないか。 ・上のような課題や子ども日本語教室の存在意義について、関係者が認識を共有しつつより良い適応指導を目指して行くことが肝要。
--	--	----	--

【写真】(会議風景の写真を1～2枚参考に添付して下さい。)

3 日本語教室の開催について

① 日本語教室の名称 子ども日本語教室

② 開催場所 船橋市東部公民館

③ 学習目標

- ・児童の学年、年齢、日本語力により7～8班を編制。
- ・日本語学習用の教科書を使用して体系的な学習。
- ・グループ学習により、日本語を共通語として、母語の違う児童が日本語学習という課題を共有して互いを向上させる。
- ・児童が抱える悩みや苦勞を共有する仲間が集い、充実した生活ができるように支援する。

④ 使用した教材・リソース

主な日本語テキスト

にほんごをまなぼう 1、2 こどものにほんご 1、2 ひろこさんのたのしいにほんご1、2

日本語学級1、2 みんなの日本語 I、II

読み教材

レベル別日本語多読ライブラリー

ひらがな、カタカナ、漢字

くもん 書き方カード ひらがな、カタカナ 絵でまなぶ漢字80、160、250

教科

算数文章題ドリル小1年～6年

⑤ 受講者の募集方法

教育委員会、市内小中学校及び国際交流協会などによる紹介と募集。

外国人同士による紹介。

募集のチラシ添付

⑥ 受講者の総数 48 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

⑦ 開催時間数(回数) 80時間 (全 40 回)

⑧日本語教室の具体的内容 : 別添参照

⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)

(1) 通常の授業より4例を報告

1. 小学生低学年入門 (中国女小2、中国男小3、フィリピン女小3)

【前半 3人が揃うまで】

フリートーク：身の回りのこと、着ている洋服、持ち物、教室に来るまで

10:00 3人揃うので、当番の号令であいさつ

小2の算数文章題のプリント

問題文のモデル発音を示し、子どもたちに読ませて答え合わせ。

わからない意味の単語の説明。

10:30 フルーツをあげる、食べる

広告のフルーツを切り貼りしながら、台紙の余白に、太マジックで「だれにいくつあげるか」を思いつくまま書かせる。

例：おかあさんに2こリンゴをあげます。

わたしは3こ たべます。 大きいリンゴをわたしがたべます。 など

【休憩(15分)】

【後半】

11:00 読み聞かせ

ハチ公の話など。机を離れて、本に集中できる距離に集まり、輪になって読み聞かせ。(10分程度)その後、感想やあらすじについて、ノートに思いつくまま書かせる。(10分程度)少し手伝いながら書かせ、ゆっくりでもよいので、筆順や字を丁寧に書く習慣をつけるのがポイント。

11:20 ゲーム

例：カルタ(取り手と読み手を順番にさせる)

指導者2名もハンディ付きで参加することで、子どもたちも真剣に集中し楽しんだ様子。

*どこかで1回計算のみのドリル1ページを入れ、話すことや字がまだ苦手な子が輝ける時間を設ける

11:45 挨拶して終了

2. 小学生高学年初中級 (フィリピン女2 男1 中国女1 全員小6)

【前半】

(1) 文のあらすじの理解、問題文の理解、問題文専用語彙の説明

小2の国語「かさじぞう」のプリント問題を用いて

物語の音読をし合う 語彙の説明

各自問題を解く 全員で問題の回答をする

【後半】

(2) 文法：自然に会話の中に出てきている表現を再度確認し、テキストを通して正しい文章に触れる。

『こどものにほんご 2』17課

一てから、一のあとで、一てもいいですか、一ないでください

テキストの問題を順に答える。各自の生活の中から、習った文法を使って文を作り書く。
(3) 漢字の読み書き以外の面からも漢字を知ることにより、筆順、画数、辞書の引き方等へ
つなげる

小1、2の漢字表をもちいて部首調べ

調べた漢字の音・訓読み 自分の名前の音・訓読みを調べる、全員で確認する

3. 小学生高学年、中学1年初期指導（小6 中国女1、中1中国男2）

【前半】『みんなの日本語 I』使用

前の週の復習とチェック

「～たことがあります」「～たり、～たりしました」を使って、冬休みに経験したことについて話す。 今週の勉強 14課から19課の復習問題

【後半】

百人一首から50首 上の句を読み、下の句を取る練習

テキスト20課 普通形での会話練習 丁寧形から普通形への変換練習など

4. 中学生 中上級（中国女 小6、中1、フィリピン男中2）

【前半】漢字の読み（漢字圏には漢字の日本語読みを、非漢字圏には、得意なリスニングで漢字と一致させる練習）

同訓異字語、同音異義語のプリントを各自覚える

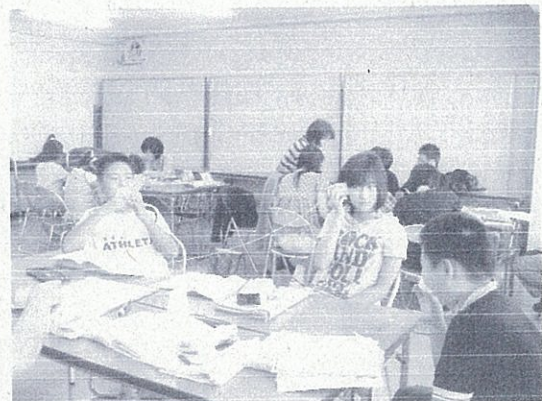
漢字カードを並べ、例文を読み、合った漢字をカルタ形式で取る

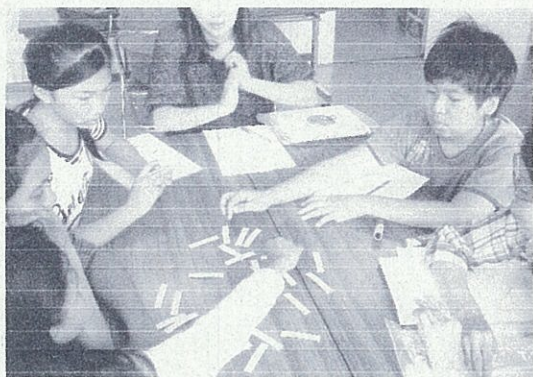
【後半】

『名言』のテキストを用いて、読解と自分の考えを書いて発表する練習

中国人の子に音読をさせ、その間にフィリピン人の子には振り仮名をつけさせる。名言を言った人物の説明、読解のための文法を2,3取り上げて説明。

テキストにある名言、高杉晋作の「おもしろきこともなき世をおもしろく」の後の句を、自分の場合はどうするか作文する。





地名の漢字を取る練習



入門の子の個別指導

(2) 夏休み教室 報告書別添

(3) 冬休み教室 報告書別添

⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿 : 無し

⑪ 支援者の名簿(⑦以外) : 別添参照

4 事業に対する評価について : 別添参照

委託事業実施内容報告書

3. 日本語教室の開催について

⑧日本語教室の具体的内容

回	開催日	時間数	受講人数	国籍・母語(人)	教授者/ 補助者人数	内容
1	平成 21.5月9	2	12	受講者総人数48人の国籍別 内訳 中国・中国 24 フィリピン・タガログ/英 14 日本・英 4 タイ・タイ 2 ニュージーランド・英 2 韓国・韓国 1 スペイン・スペイン 1	教授者 13	日本語、教科学習
2	16	2	14		13	以下同上
3	23	2	9		12	
4	30	2	18		12	
5	6月6日	3	19		15	
6	13	2	0		13	臨時休校 研修
7	20	2	15		11	
8	27	2	16		11	
9	7月4日	2	17		16	
10	11	2	19		12	
11	18	2	21		12	夏休み教室
12	19	2	20		9	同上
13	20	4	22		12	同上
14	21	2	17		12	同上
15	9月5日	2	23		12	日本語、教科学習
16	12	2	9		11	以下同上
17	19	2	22		13	
18	26	2	14		14	
19	10月3日	2	17		15	
20	10	2	21		11	
21	17	2	23		11	
22	24	2	10		11	
23	31	2	15		13	
24	11月14日	2	20		12	
25	21	2	13		13	
26	28	2	20		11	
27	12月5日	2	18		14	
28	12	2	14		12	
29	19	2	16		13	冬休み教室
30	平22. 1月9	2	15		14	日本語、教科学習
31	16	2	17		13	以下同上
32	23	2	13		13	
33	30	2	19		15	
34	2月6日	2	17		15	
35	13	2	18		13	
36	20	2	20		15	
37	27	2	15		12	
38	3月6日	2	18		10	
39	13	2	19		12	
40	20	2	20		12	修了会

氏 名	所 属	専門分野および日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
安部 恵美子	当会会員	学校派遣協力員	37	教授者
市原 佐由美	以下同上	日本語講師養成講座修了	37	会計
伊藤 昭子		日本語講師養成講座修了	28	教授者
伊藤 麻里紗		日本語教師資格	17	教授者
伊藤 三恵子		学校派遣協力員	18	監査
岩下 幸恵		学校派遣協力員	4	教授者
浦和 かほる		日本語教師資格	39	教授者
丘 瑞子		日本語コーディネーター	19	副代表
坂井 一成		日本語講師養成講座修了	38	教授者
澤山 愛里菜		日本語教師資格	6	幹事
滝沢 孝子		高校教師経験	36	教授者
野村 則子		大学専攻 日本語教師資格	32	教授者
広瀬 千鶴子		日本語講師養成講座修了	30	教授者
舟木 千枝子		学校派遣協力員	33	教授者
松川 京子		日本語講師養成講座修了	1	教授者
宮 慶助		日本語講師養成講座修了	38	教授者
吉村 辰美		日本語教師資格	29	代表
吉村 弘子		日本語学校講師経験	17	教授者
山野 陽子		学校派遣協力員	5	補助者
小林 洋子	外部日本語ボランティア	日本語講師養成講座修了	1	補助者
武藤 あゆみ	当会賛助会員	日本語教師資格		

計

503

4. 事業に対する評価について

(1) 当初の学習目標の達成状況

当教室の目標は、「より早く生活に慣れること、学校での学習活動や地域の行事に参加できること」である。目標達成度は、本人の精神的な安定度、日本語の能力の伸び、参加の態度などを評価基準として判断した（6 その他の参考資料 a）。

船橋市内には日本語支援を必要としている児童・生徒が約100名いる（教育委員会指導課調べ）。子ども日本語教室へは今年度、前年度からの残留と新規を含め48名の参加者があり、その内25名が年度末まで残っている。経済状況の反映か、年度後半の市内の学校への転入も少なく、当教室への入会者も昨年度より少なかったが、送迎のある小学生の保護者からは、楽しみに参加しているという感想を聞くことができた。グループ学習を基本としているので、同じ国、または同じ境遇の友だちに会いにくることを楽しみにしている子どもも多いこと、また中級レベル以上になっても続けて参加している子どもがいることは、精神面でもよりどころとなる環境を提供できているためと思われる。退会者の退会理由としては、予定された帰国（4名）、日本語の上達で支援の必要がなくなった（3名）、他の活動を土曜日に始めた（4名）、引っ越し（1名）、学校内に日本語教室があり受験の支援を行っている中学3年生（3名）その他推測として、本人の学習意欲がない、活動が適していない等（5名）があげられる。

(2) 学習者の習得状況（6 その他の参考資料 a）

当教室では、H19年に早稲田大学の川上郁夫教授のJSLバンドスケールの講習を受け、日本語能力を数値で表す基準の一つとして用いている。学習態度などの日本語以外の要素については、グループの担当ボランティアの報告による。

個々の年齢や性格によって、入会後直ちに日本語の力を伸ばせる子ども、まずは言葉がわからない環境に慣れることから始める必要がある子どもなど多様な対応が必要になる中で、1年間で概ね+1〜+3の伸びがあった。

伸びの内容としては、萎縮して全く声が出せなかったのが発話できるようになった、落ち着いて座学ができるようになったため漢字や文法の習得が進んだ、話すだけでなく書くことにも興味を示すようになった、などの例が挙げられる。日本語による学校の教科の学習能力には差があるが、非漢字圏の子どもにとってはどの教科も教科書を読むことは難しく、漢字圏の子どもにとっては、国語、社会の理解が難しいようだ。

(3) 日本語教室設置運営の効果、成果

効果については、子どもたちにとってどうであったかが第一の視点であると思うので、年度末の感想文のまとめを報告とする。感想文のテーマは、「この教室でよかったこと、わかったこと」で、ひらがなで単文が書ける以上の日本語力がある4グループのものを抜粋した（6 その他の参考資料 b）。回答の約9割が、楽しい学習や、指導者のやさしさを挙げていたことは、精神面でのサポートには効果があったと言えるだろう。中学3年生は終盤自力学習になったが、全員高校に合格し報告に来てくれたことから、この教室の指導に意義を感じてくれていたようだ。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果等

a. 船橋市東部公民館

社会教育関係団体として公民館の協力があり、教室の年間予約、備品の置き場所の提供をしてもらうことができ、安定的に定期活動をする上で大きな支援となった。公民館事業のハッピーサタデーを協力開催（世界のあそび）することで、日本人の子どもたちと自然な交流の場がもてた。また、日本語教室と同時に利用している他のグループと接する機会もあり、地域の日本人にとっても外国人児童生徒の存在が認識される良い機会になったと思われる。

b. 船橋市教育委員会

教育委員会の転入窓口で当教室のパンフレットを渡し、来日後できるだけ早い機会に当教室を紹介してもらうことができた。また、80あまりの学校にも配布し、途中で必要が生じたときにも紹介してもらえるルートができた。夏休み教室に関しては、各学校の国際理解担当教員に直接案内を配ってもらい、認識の裾野を広げることができた。これらは、支援の場が学校以外にもあることを周知する上で昨年度に引き続き大きな成果があったと言えるだろう。

また、当教室のメンバーの多くが学校派遣協力員でもあり、教育委員会の主催する研修会に参加し、課題の解決の助けとなった。メンバー外の30名ほどの協力員とも情報交換の場がもて、そこで子どもたちの学校での様子と日本語教室での様子を比較することができた。

c. 船橋市国際交流協会

協会主催の成人のための日本語教室で活動するボランティアの夏休み教室への協力や、新しいボランティアの参加があった。また、各教室で日本語を学ぶ外国人の情報提供もあり、遠くからも入会する子どももいた。

d. 千葉県の他の団体とのネットワーク

千葉県教育庁社会教育振興室が主催する「帰国・外国人児童生徒受け入れ促進事業」の一環としておこなわれた、「ボランティアリーダー連絡会議」が3回行われ、参加した。また、房総日本語ボランティアネットワークの主催するシンポジウムにパネラーとして参加し、実践報告を行った。これらにより、指導方法についての情報交換や課題の共有ができ、運営方法や指導力向上などに役立った。

e. 専門家による研修

当グループ主催で、東京学芸大学の齋藤ひろみ准教授による、「子ども日本語教室」支援者研修をおこなった。テーマは、第一回「実践報告と相談」第二回「齋藤准教授による現場の見学と相談会」で、当グループメンバー15名が参加した。年少者特有の問題、指導方法をグループ別の個別の課題に添って、具体的にアドバイスを求めることができた。（参考資料c）

(5) 改善点、今後の課題について

a. 現状

入門の子どもへの個別対応はあるが、基本的には多少のレベル差はあっても、日本語の習得を目標にグループ学習を行っている。ボランティアの数にも限りがあるので、個別の要望に応じ切れないものもある。以下応じられていないと考えられる点を挙げる。

- ・保護者による送迎ができなくて参加できない子どもの対応。
- ・学校の教科の補習を望んでいる場合
- ・当教室では明るいが、学校では話をしなかったり、勉強をしようとししない。
- ・規則を守れない（母国との生活習慣の違いからではないか、時間を守る、宿題等）
- ・年少者特有の心の問題（家庭環境は安定しているか、相談できる人がいるか、学校に適応できているかなど）
- ・母国や家庭での学習習慣（家庭で母語での会話が十分あるか、知ること、学ぶことの大切さを感じているか）
- ・保護者との将来に対する考え方の違いに対応

b. 今後の課題

精神的なサポートや、日本語指導支援と同時に、学校での教科についていけないという悩みを抱えた子どもは小学校高学年、中学生で来日する子どもに多い。これまでは、日本語教育の知識や技術を身につけたボランティアが中心となって、日本語を学ぶことによって日本の生活に適応してもらうこと、学校での教科理解につなげてもらうことを主な目標としてきた。今後は、初期指導としての日本語支援と、その後の教科理解のための日本語支援、やさしい日本語を用いた教科補習に分けて対応する必要がある。週1回の機会、現ボランティアの人材だけでは無理なので、ニーズを分けて対応する、学校でのサポートの時間と連携していくなど考える必要があるだろう。

c. 今後の活動予定、展望

H21 年度と同様に、週一回土曜日の定期的な日本語教室の開催による日本語の指導と、公開の夏休み教室、冬休み教室による多文化交流行事を行う。また、子どもの多様なニーズに応え、ボランティアが活動しやすい環境を作るために、日本語以外の得意とする分野をもつボランティアを募ったり、研修によって、グループ指導の技術などボランティアの指導力向上に努めたい。

(6) その他参考資料

a. 日本語習得状況

早稲田大学作成 JSL バンドスケールを参考にし、3期に分けて活動グループ別に判定
小学1, 2年 中級

氏名	性	国/言語	学年	在日 年数	2009, 4, 11現在				2009, 10, 30現在				2010, 3, 10現在				利用教材	学習意欲、態度、進捗、精神面、今後の課題、社会性
					話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む		
Y	M	フィリピン	1	2	6	6	3	5	7	7	7	7	7	7	7	7	こどものほんご 日本語宝島	意欲、態度、進捗とも良好。特に作文力は良い。2月で退会。
T	M	フィリピン	2	2	6	6	4	4	7	7	6	6	7	7	6	6	1年生の算数	怪我、病気で休みが多かったが、学習意欲は高く、最後まで続いた。
J	M	ニュージーランド	1	0.5	-	-	-	-	5	6	5	5	-	帰国	-	-	2年生の国語ドリル	体験来日。学習意欲旺盛。集中力もあり、漢字も良く覚えた。
O	F	アメリカ	1	4	-	-	-	-	7	6	5	5	7	6	5	5	言葉のパスル、カード、絵描き歌	学習意欲は高いが、保護者の仕事の都合で送迎ができず、欠席が多い。

小学2, 3入門

氏名	性	国/言語	学年	在日 年数	2009, 4, 11現在				2009, 10, 30現在				2010, 3, 10現在				利用教材	学習意欲、態度、進捗、精神面、今後の課題、社会性
					話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む		
S1	F	中国	2	1	1	1	1	1	2	2	2	2	-	-	-	-	ひらがなことばカード	ひらがな、カタカナの読み書きはほぼ大丈夫。教室での活動も活発で発言も多い。
S2	F	中国	3	1	1	1	1	1	2	2	2	2	-	-	-	-	日本語学習I	姉妹で競い合い、理解力もある子で学校での生活や学習にも慣れたのが速いと思われる。
R	F	フィリピン	3	1	-	-	-	-	2	2	2	1	2	2	2	2	小1国語教科書	明るく、楽しんで勉強している。グループのリーダー。ひらがなはほぼ習得。カタカナはもう少し。
G	F	韓国	2	0.8	-	-	-	-	1	1	1	1	-	引越	-	-	工作をしながら日常会話	最初は涙ぐむほど緊張していたが、おやつ時間にも友達とあそぶようになった。ひらがなはほぼ習得。無口であまり発言はないが、ノートを几帳面に取る。
Z	F	中国	2	0.5	-	-	-	-	1	1	1	1	2	2	2	2		習った日本語で一生懸命話そうとする。おとなしいが、理解力が高い。
N	M	中国	3	0.5	-	-	-	-	1	1	1	1	2	1	1	2		ランバクで明るい。言いたいことが話せず、身振り手振りでめどかしい様子。

小学3, 4年 初級、中級

氏名	性	国/言語	学年	在日 年数	2009, 4, 11現在				2009, 10, 30現在				2010, 3, 10現在				利用教材	学習意欲、態度、進捗、精神面、今後の課題、社会性
					話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む		
P	F	フィリピン	3	2	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	レベル別日本語多読ライブラリー	学習意欲が高い。伸びも速く、学校での授業でも問題ないレベルになり、退会。
G	F	日本 / 英、日	4	9	4	4	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-		保護者の送迎ができないので休みがち。学習能力に問題があるので、学校現場でのサポートが必要。
S	M	ニュージーランド	3	0.5	-	-	-	-	5	6	5	5	-	-	-	-	算数文章ドリル	母親が日本人なので、家庭学習がよくできているので、体験来日でもあまり問題はなかった。
K	F	スペイン	3	0.8	-	-	-	-	2	2	2	2	3	3	2	2	ひらがなカード、国語ドリル	保護者の送迎ができなく、欠席がち。学校でも発言が少ないらしいが、ここでは、スペイン語ができるボランティアが対応しているの、少し発言しているようだ。

小学5, 6年入門

2009. 4. 11現在					2009. 10. 30現在				2010. 3. 10現在				利用教材	学習意欲、態度、進度、精神面、今後の課題、社会性				
氏名	性	国/言語	学年	在日年数	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む			話す	聞く	書く	読む
S	M	中国	6	0.5	—	—	—	—	1	1	1	1	2	2	2	2	生活かるた	書く意欲はあるが、発音に自信がないのか、声が出ない。 2人になってから少し声が出るようになった。
G	M	中国	5	1か月	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	2	2	日本地図など	習ったことをすぐに口に出す意欲があるので吸収がはやい

小学6年入門

2009. 4. 11現在					2009. 10. 30現在				2010. 3. 10現在									
氏名	性	国/言語	学年	在日 年数	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	利用教材	学習意欲、態度、進度、精 神面、今後の課題、社会性
D	M	フィリピン	6	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	2	2	ひろさん のにほんご	発話意欲があるので、意思疎通 はしやすい。正確な学習が苦手 だが、漢字などにも興味があ る。
K	F	フィリピン	6	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	2	2		学習意欲が高い。理解力がよい。 漢字も中学へ入る前にある 程度身につけたいと希望してい る。

小学6年中級

2009. 4. 11現在					2009. 10. 30現在					2010. 3. 10現在					利用教材	学習意欲、態度、進度、精神面、今後の課題、社会性		
氏名	性	国/言語	学年	在日年数	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く			書く	読む
A	F	フィリピン	6	2	4	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	5	こどものにほんご	意欲にムラがあり、私語が多いので、もう一段進めることが難しい。帰国予定
T	M	フィリピン	6	2	3	3	3	3	3	4	3	4	3	4	3	4	日本地図絵本	意欲はあるが、雰囲気になれないので学習量が少ない。
R	F	中国	6	2	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	手作り語彙カード	学習意欲が高く、積極的に参加する。
M	F	フィリピン	6	2.5	5	5	3	4	5	5	4	4	5	5	4	5		日常会話はできるが、正確さが足りない。学校生活に悩みがあるようだ。

小学6年、中学1年初級

2009. 4. 11現在					2009. 10. 30現在				2010. 3. 10現在				利用教材	学習意欲、態度、進度、精神面、今後の課題、社会性				
氏名	性	国/言語	学年	在日年数	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む						
Y	F	中国	6	1	2	3	3	3	3	4	3	4	3	4	4	4	こどものにほんご	静かだが理解力が高い。最近発話も増えてきた。
J	M	中国	中1	1	—	—	—	—	3	3	2	3	3	3	3	4	みんなのにほんご	C君が加わってから元気になって、発話も増えてきた。学習は消極的で、難しいと言うことが多い。
C	M	中国	中1	0.5	—	—	—	—	2	2	2	2	3	3	3	3		集中力がある。母親の在日年数が長いので、日本語の習得にもよい影響があるようだ。

中学1，2年入門

					2009. 4. 11現在				2009. 10. 30現在				2010. 3. 10現在					学習意欲、態度、進度、精神面、今後の課題、社会性
氏名	性	国/言語	学年	在日年数	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	利用教材	
R	M	中国	中2	2か月	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	書き方練習帳	まだ来日したばかりで、生活に慣れないせいか、静かで発話しないが、自己紹介ができる程度になった。
M	M	フィリピン	転入前	3か月	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	日本語学級	2人になったので、少し励みになったらしく、発話も出てきた。自己紹介ができる程度。

小6—中2 中上級

2009. 4. 11現在					2009. 10. 30現在				2010. 3. 10現在				利用教材	学習意欲、態度、進歩、精神面、今後の課題、社会性				
氏名	性	国/言語	学年	在日年数	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む			話す	聞く	書く	読む
T	F	中国	6	2	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	名言集	学習意欲が高く、学校での授業にも問題はないレベルになっているが、リラックスできる場を求めて来室している
Y	F	中国	中1	2	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	漢字問題集	同上
T	M	中国	中2	2.5	7	7	7	7	7	7	7	7	—	退会	—	—	テーマ別で学ぶ日本語中級	
R	M	中国	中2	2.5	7	7	7	7	7	7	7	7	—	退会	—	—	新聞の記事など	
H	M	フィリピン	中2	2	4	4	4	4	5	5	4	4	5	5	4	4		グループレッスンだと集中できないタイプ。表現力はあるが、数学の文章題の理解、漢字などのハードルが高く、帰国。

中学3年 受験対策

				2009. 4. 11現在				2009. 10. 30現在				2010. 3. 10現在				利用教材	学習意欲、態度、進歩、精神面、今後の課題、社会性		
氏名	性	国/言語	学年	在日年数	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む			
R	F	中国	中3	2.5	7	7	7	7	7	7	7	7	—	受験勉強のため退会					公立 一般入試合格
K	M	中国	中3	2.5	6	6	7	7	6	6	7	7	—	受験勉強のため退会					公立 一般入試合格
S	F	日本 / 英、日	中3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6		公立 特色化選抜合格	
L	F	中国	中3	1.5	7	7	7	7	—	受験勉強のため退会			—	—	—	—		私立 一般入試合格	
M	F	タイ	中3	1.2	1	2	2	2	3	4	2	3	—	受験勉強のため退会				みんなの日本語	教室では一生懸命やるが、家での復習が不足気味 思いやりがあり、やさしいので、友だちには好かれている様子公立 一般入試合格
H	F	タイ	卒	1.2	1	2	2	2	4	4	3	4	—	受験勉強のため退会				絵カード、小3国語算数ドリル	学習意欲はある 公立 一般入試合格

b. 年度末感想文のまとめ

感想文のテーマ「この教室のよかったところ、わるかったところ」より抜粋。

【グループ1 小学2, 3年】

- ・良いところは、ゲームをすることです。一番好きなゲームはカードゲームです。
- ・日本語教室行くとき少しめんどくさいです。でも行きます。
- ・いまSちゃんひっこしました。でもまだ楽しいです。
- ・勉強がかんたん。
- ・休み時間おやつ食べておいしかった。
- ・悪いところはトイレがちょっとこわいです。
- ・良いところは楽しいところ。
- ・H先生がやさしい、Y先生がこわい。
- ・休み時間は、ジュースがおいしい、おかしはまずい。
- ・アンデルセン公園に先生やみんなといっしょに行ってうれしかった。
たからさがしをして、むずかしかったけど、おもしろかった。

【グループ2 小学6年】

- ・たくさん友だちができました。
- ・良いところは、とっても楽しい授業です。
- ・勉強がとっても楽しい。たとえば、漢字の書き方とか、読み方など。
- ・休み時間おかしをたべている、飲みものものんでいる。
- ・悪いところは、休み時間が短い。
- ・教室がちょっとうるさいですが、がまんしています。
- ・先生がおこるのはちょっとこわいです。
- ・良いところは、みんなでなかよく楽しく勉強をすることです。
- ・悪いところは、みんなで大ごえを出すことです。
- ・休み時間では、時間を守れないことです。
- ・たまに先生の話聞いていないことです
- ・教室はせまくて、みんなの声が聞こえることがこまりました。
- ・最初来たときにあまりやることがわかんなくてさみしかった。でもだんだんなれてきて楽しくなりました。この1年間でいっぱいお友達になって、そして思い出を作って、日本で一番楽しかったことです。
- ・みんなちがう国でもほんとうにたのしくあそべたりするのがよかったです。

【グループ3 初級 中学1年】

- ・良いところは、日本語がわかりやすくなりました。
- ・1年前に日本にきました。日本語は全然わからないとき、先生は優しく教えたことは、忘れません。本当に楽しかったです。
- ・悪かったことは、日本語の勉強は大変でした。隣のJ君とC君はいつも話してうるさかつ

た。

- ・先生も優しくて、おもしろかった。
- ・休み時間はおやつがあるのですごく楽しかったです。
- ・教室は夏の時涼しい、冬の時暖かいです。すごくいいと思いました。
- ・お父さんやお母さんが「日本語一所懸命勉強してね、一緒にがんばりましょう。」と言います。
- ・悪いところは、休み時間が短いです
- ・夏休みの時いっぱい遊んだこと。
- ・休み時間は食べ物がいっぱい。場所は明るい。悪いところはありません。
- ・勉強は大変だった。でも日本語が上手になった。
- ・僕たちがうるさいときも我慢するいい先生ですね。

【グループ4 中級小6ー中2年】

- ・良いところはリラックスできることです。
- ・休み時間が楽しいところです。
- ・良いところは先生が話を聞いてくれること。
- ・良いことはみんなの集中力が高まっていくところです。
- ・みんなで楽しく勉強できることです。
- ・先生が話しやすく、悩み事が言いやすいです。
- ・悪いところは、クラス（レベル）別にしないと、うるさくなってしまうこと。

c. 研修

平成 21 年度文化庁地域日本語教育支援委託事業

地球っ子プロジェクト「子ども日本語教室」支援者研修について

第 1 回はボランティアリーダー連絡会議を通じて他市のボランティアにも人数限定で案内を出したが、インフルエンザの流行と重なり活動の見学が中止となったため、当教室メンバーのみで実施した。第 2 回目は当教室メンバーで実施。

研修の目的（1 回目、2 回目共通）

実際の活動の中で抱える課題を出し合い、指導方法の情報交換をする。それを基にボランティアでは解決できない問題について、専門家よりアドバイスをいただいて今後の指導の向上に役立てる

テーマ 実践報告と課題への対応

講師 齋藤ひろみ 東京学芸大学 准教授

内容

1 回目

日時 2009 年 6 月 13 日（土） 13:30 -16:30

場所 船橋市東部公民館 第 2 会議室

対象 地球っ子プロジェクトのボランティア

内容

まず、グループ毎に日頃の指導内容を報告し、齋藤先生より改善点のアドバイスをいただいた。その後、困っている点について、ひとつひとつ指導方法についての質疑応答を行った。

(1) 教室見学

船橋市内の数校で新型インフルエンザの感染が確認され、広がる様相があったため、市内各地から集まる子どもたちの教室を休みとした。従って、齋藤先生による教室見学は中止とし、代わりにグループごとの活動報告を行った。

(2) 各班の報告

【1 班】フィリピン 小 2 （2 名）

【2 班】中国 小 2、小 3 （2 名）

【3 班】フィリピン、日本生まれアメリカ 小 4 （2 名）

【4 班】フィリピン、中国 小 6 （4 名）

【5 班】中国 中 1 （2 名）

【6 班】タイ 中 3 （2 名） ボランティアがタイ語で対応

【7 班】中国 小 5、中 1、中 2 （4 名）

【8 班】フィリピン、日本生まれアメリカ、中国 中 1， 2 （4 名）

【9 班】中国 小 6、中 1～3 （6 名）

(3) 指導法相談会

以下の質問について齋藤先生より具体的な提案をいただいた。

質問1：何をどのように目指したらよいのか。

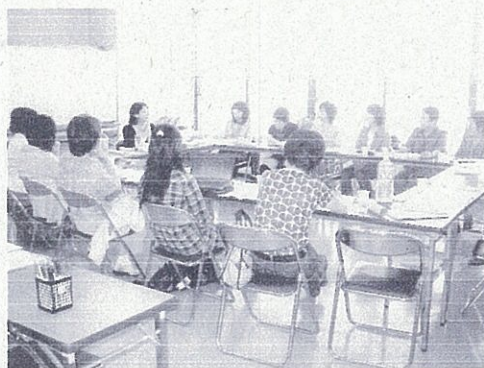
質問2：本当にやったことを理解したのかがわからない

質問3：（文法など）間違いなど訂正されると嫌がる子の対応について

質問4：漢字（特に音訓読みの違い）をどのように指導すればよいのか

質問5：中学生（特に受験前の三年生）の対応について

質問6：その他、先生の感想、意見等



成果

ボランティア個々の抱える困難な点について具体的で細かな指導方法の提案をしていただき今後の活動を工夫する上で大変参考になった。

2回目

日時 2010年3月13日（土） 10:00 - 14:00

場所 船橋市東部公民館 第2会議室

対象 地球っ子プロジェクトのボランティア

内容 齋藤ひろみ准教授による教室の活動の見学と相談会

以下の質問について齋藤先生より具体的な提案をいただいた。

質問1：中学生への飽きさせないひらがな指導の方法

質問2：文としてつながりのある、わかりやすい文章を書かせるには

質問3：中学3年生は高校受験まで短期間しかないが、その指導法 教科補習をすべきか

質問4：促音の発音ができない場合の指導法

質問5：1週間に1回という限られた支援の場で成果の見えるアプローチの仕方

質問6：その他、先生の感想、意見等

成果

今回は、特に限られた時間での支援の仕方についての質問が多かった。齋藤先生より、日本語学校や塾などのような体系的な学習を提供するより、外で乱雑に入ってきて自然に身につけている雑多な日本語を、少しまとめてあげる程度の気持ちで支援したらどうかと、アドバイスをいただき、メンバーにとって安心と励みになったようだ。